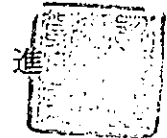


松 産 建 第 3 5 7 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

静岡県賀茂郡松崎町長 深 澤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について別紙のとおり回答いたします。

記

1. 提出書類 今後の道路行政についての意見・提案
様式①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
様式②地域の現状と抱える課題
様式③地域の目指すべき将来像
様式④道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

担 当：産業建設課管理係 山本
TEL：0558-42-3965
FAX：0558-42-3183

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県松崎町

1. 災害発生時における緊急避難路の整備や道路に付随する橋の老朽化、耐震化対策や救急医療機関への緊急輸送路の整備など災害救急時に重点を置いた道路政策の推進をお願いします。
2. 生活幹線道路については、狭隘箇所や危険箇所の解消を促進するとともに、観光地など流動人口の多い地域については、渋滞緩和のためのバイパス整備の促進をお願いします。
3. 幼児・児童、高齢者や障害者など交通弱者に対する円滑な移動確保のため、歩道の整備や段差解消、拡幅などバリアフリー化の推進をお願いいたします。
4. 道路整備が立ち遅れた地域に対し、地域活性化や物流機能を強化するため、主要都市までを短時間で結ぶ高速交通路の整備やアクセス道路、既存道路改良などの整備を実施し、地域間の格差解消を図るようお願いします。
5. 道路整備に当たっては、地域住民から幅広く意見を求め、画一的な道路整備ではなく、各地域の実情を勘案し、地域にあった道路整備ができるよう配慮をお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

静岡県松崎町

○現状

松崎町への幹線道路は、三島・修善寺方面へつながる国道１３６号と下田方面につながる主要地方道下田松崎線があり、住民生活や地域の経済活動に欠くことのできないものになっています。

国道１３６号は西伊豆唯一の幹線道路ですが、急峻な山間や海岸線を縫って走っているため、大雨などにより道路災害が発生すると交通遮断となり迂回路も緊急輸送路の確保もできません。

通勤、通学などの地域の生活を支える道路は、狭隘箇所や危険箇所も多く、第三次救急医療機関までのアクセス時間もかかることから安心、安全を確保する道路の整備が必要となっています。なお、現在南伊豆地区１市３町の合併協議が進められており、合併後の市町の一体性の確保や行政サービスに低下を来さないような措置が求められます。

また、南伊豆地区は、高速交通ネットワークが未完成なことから地域活性化や物流機能に支障を来しており、加えて夏の観光シーズンなどには交通渋滞が発生しています。

○課題

- １．自然災害に脆弱な道路
- ２．地域生活を支える道路が整備途上
- ３．高速交通ネットワーク形成が不十分

②－２ 地域の目指すべき将来像

静岡県松崎町

1. 国道１３６号の狭隘箇所や想定される東海地震、大雨により土砂崩落の発生の恐れのある箇所の改良工事を促進し、安全性、信頼性が確保された道路の整備が望まれます。
2. 幼児・児童、高齢者や障害者など交通弱者が安心して移動できる歩道整備などを促進し、交通事故のない安全な道路整備が望まれます。また、市町合併後の各種行政施策の効率的な推進のため広域的な道路交通網の整備が望まれます。
3. 伊豆縦貫自動車道やアクセス道路（国道１３６号、主要地方道下田松崎線、県道湯ヶ野松崎線）の整備促進により、伊豆地域の交通渋滞の緩和、産業振興、災害時の緊急避難路、救急医療機関への緊急輸送路として、交通の円滑性、利便性の向上が図られます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県松崎町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	伊豆縦貫自動車道の整備	下田市と沼津市を結ぶ延長60kmの自動車専用道の完成により、伊豆地域への高速サービスを提供し、海・山などの自然環境や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の発展に大きく寄与するとともに、交通混雑の緩和、緊急輸送路の確保など地域の道路網強化が期待されます。	